

行ってみよう!



草原を歩く

●草千里

えぼしだけ きしまだけ
烏帽子岳と杵島岳の間に広がる草原。放牧の期間中は牛や馬を近くで見ることができ。 (マップ参照)

●国立阿蘇青年の家

高岳のすそ野の草原の中にある体験学習施設。草原の中を歩くクロスカントリーのコースがあり、春から秋にかけてたくさんの野の花が咲く。(マップ参照)

●登山道から古坊中

阿蘇登山道路から阿蘇山上に向かう遊歩道がある。片道約2時間かかるが、いろいろなタイプの草原が見られる。(マップ参照)

●鍋の平キャンプ場

ねこだけ
根子岳のふもと、鍋の平高原にある自然の草地のキャンプ場。周囲は広大な草原で、放牧の牛も見られる。(マップ参照)

草原に入る時の注意!

草原は、地元の農家の人が牛や馬を飼育している大切な場所です。次のことは必ず守ってください。

- ・草すべりなどの遊びはしない
- ・ゴミは持ち帰る
- ・ペットを連れて入らない



阿蘇五岳を眺める

カルデラの中央部には主だった5つの山がそびえ、これらを阿蘇五岳という。

●高岳

ただけ
5つの中で一番高く、1592メートル。「ヒゴノクニ」と覚えよう。

●中岳

なただけ
今も活発に煙をあげている。火口を近くから見るができる。でも

火山の活動ぐあいによっては立ち入りが禁止されることもある。

●烏帽子岳

えぼしだけ
草千里の南にそびえる山で、山頂からすそ野にかけて何本もの

谷が刻まれている。

●杵島岳

きしまだけ
西側にあるなだらかな形の山。

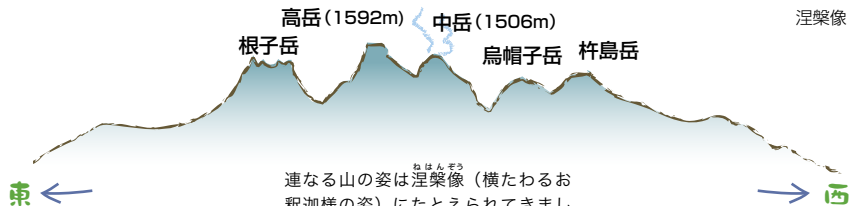
付近一帯は背の低い草原になっている。

●根子岳

ねこだけ
一番東にあり、山頂がギザギザの山。



涅槃像 (ねはんぞう)



連なる山の姿は涅槃像 (横たわるお釈迦様の姿) にたとえられてきました。大観峰や城山展望所から見るとそう見えるよ。

神社を歩く

●阿蘇神社

神話では大昔、湖だったカルデラの中に人が住めるようになったのは、神様が外輪山をけやぶって中の水を流し出したからとされている。名前は健甞龍命(タケイワツノミコト)。阿蘇をつくったこの神様がまつられているよ。屋根が二段になった立派な門が日本三大楼門の一つになっている。(マップ参照)

●国造神社

こくぞう
健甞龍命の子どもで、阿蘇の国をきりひらいた国造明神がまつられている。神社に上がる道は大きな杉の並木道になっている。(マップ参照)

展望所に上る

●大観峰

だいかんぼう
北外輪山の一番高いところにあって、カルデラの地形がよくわかる。この辺りは広い草原が続き、下には内牧の町並みも見えるよ。(マップ参照)

●城山展望所

しろやま
カルデラの中を埋めるように並ぶ阿蘇谷の田畑が見渡せるよ。(マップ参照)

●俵山峠展望所

たわらやま
南郷谷の田園風景と阿蘇五岳が見渡せる。反対側には遠くに有明海が見えるよ。(マップ参照)

●かぶと岩展望所

阿蘇谷、阿蘇五岳の他にここからは米塚が見える。(マップ参照)

●草千里展望所

草千里と噴煙をあげる中岳が目の前。北に外輪山、西に遠く熊本平野が見える。(マップ参照)



湧水を訪ねる

●白川水源

すんだ水が毎分60トンもわき出し、白川となる。(P8～P9参照)

●池山水源

毎分30トンの水がわく。この水は玉来川となって大野川に合流して、別府湾に流れる(P8～P9参照)。

ビジターセンターを訪ねる

●南阿蘇ビジターセンター

阿蘇の自然について、草原・植物・火山などいろいろな角度からわかりやすく展示・説明している。ビジターセンターの隣には、たくさんの阿蘇の植物が見られる野草園があり、草原では見つけるのが難しい植物も見られる。(マップ参照)

車から草原の景色を楽しむ

北外輪山の上を走るミルクロードからやまなみハイウェイにかけてと、阿蘇山上へ向かう阿蘇登山道路からは、果てしなく広がる緑の草原と、あちらこちらに放牧されたあか牛が見える。